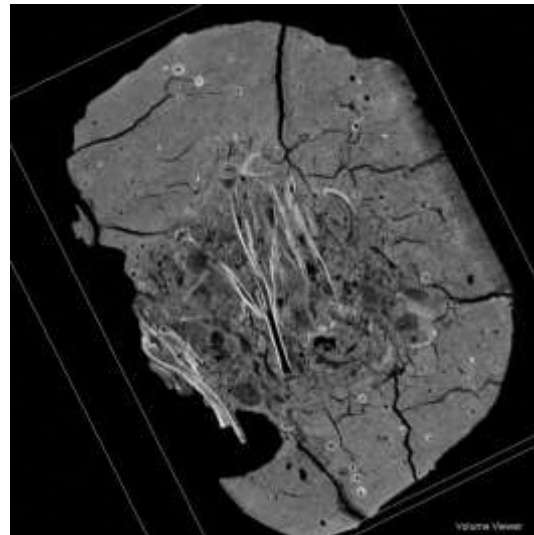
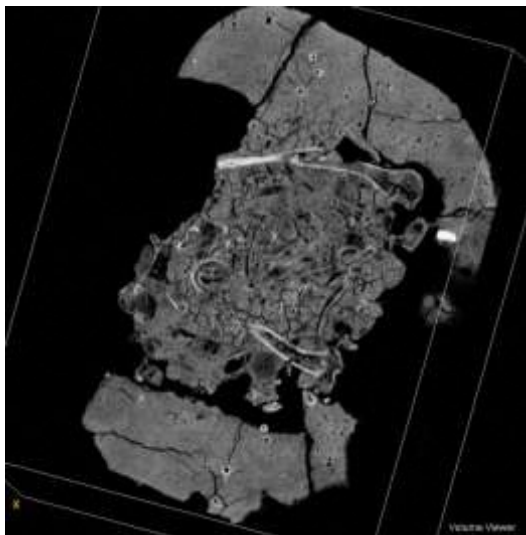


【資 料】



分析中の C316 焼人骨

左右に 2 本の上腕骨（▲）が並んで配置されます。写真左側には、胸椎が上下に並んでいます。手前には下顎骨の一部と思われる骨も見えます。



CT スキャンによる内部透視画像〔新潟医療福祉大 奈良貴史教授提供〕

画像左は、上面の上腕骨が並んでいる様子です。画像右には、現在見えていない内部の様子が映し出されています。上腕骨に直交するように長骨が並んでいる様子が確認できます。なお、CT 画像は左右逆に映し出されています。

【資 料】



発掘調査時の出土状況（左：北から、右：東から）



発掘調査時の取り上げ風景（右：発泡ウレタンによる剥ぎ取り）



新潟医療福祉大学学生の作業風景〔新潟医療福祉大 奈良貴史教授提供〕



新潟医療福祉大学での記録作成・写真撮影作業風景



## 【資 料】

### 土橋遺跡の概要

【調査原因】 一般県道新関水原停車場線道路改良工事

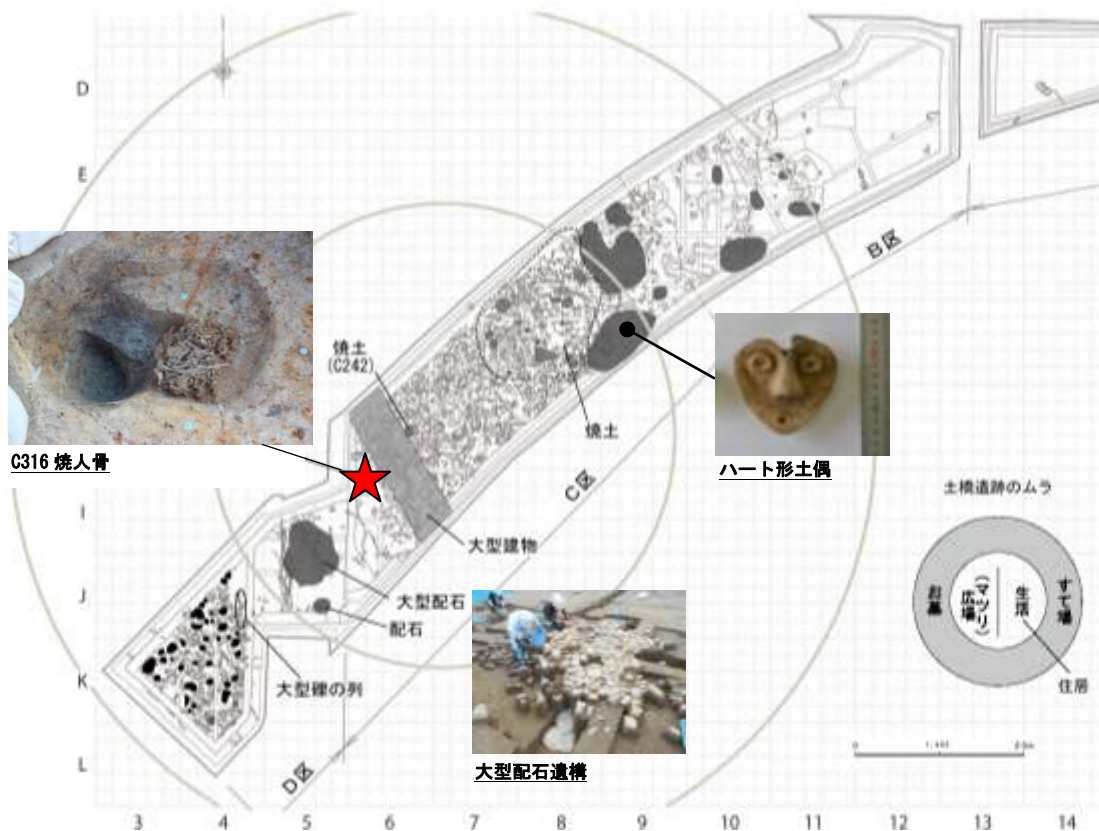
【調査主体】 阿賀野市教育委員会

【調査年度】 2019（令和元）年度 令和元年8月8日～令和2年3月15日

2020（令和2）年度 令和2年4月1日～令和2年9月15日

【調査成果】 ※下面縄文時代のみ

- (1) 縄文時代後期前半（約 4,000 年前）の集落が発見されました。東西 100m に環状に広がることを予想されます。「マツリ・生活の場」、「モノ送りの場」、「葬送の場」など、集落内での場の違いが明確に見える遺跡です。
- (2) 集落内では、大型掘立柱建物 1 棟、住居の炉跡 12 基、埋設土器 73 基、土器捨て場 2 か所、集石・配石遺構 21 か所などが発見されました。径 3.5m の範囲に規則的にカラフルな大小の石を並べた大型配石遺構が注目されます。
- (3) 出土遺物は、1,600 箱（保存箱：34×54×15cm）にのぼります。大量の土器・土製品、石器・石製品のほか、焼人骨、アスファルトなどが出土しています。
- (4) 新潟県内で最大（8.5cm）のハート形土偶の頭部が出土しました。丁寧な作りで、国の重要文化財である群馬県郷原遺跡出土ハート形土偶にとっても良く似た優品です。



土橋遺跡の遺構配置図

〔村上章久 2021「阿賀野市 土橋遺跡の調査成果」『新潟県考古学会第 33 回大会』資料より作成〕